



第 18 期事業年度
(令和 3 年度)

決 算 報 告 書

自 令和 3 年 4 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 31 日

国立大学法人 信州大学

令和3年度 決算報告書(補正予算一有)

国立大学法人信州大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	13,455	13,693	237	(注1)
うち補正予算による追加	-	-	-	
施設整備費補助金	1,581	1,531	△ 50	(注2)
うち補正予算による追加	-	-	-	
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	1,425	3,035	1,609	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	36	36	0	
自己収入	33,124	35,335	2,211	
授業料、入学金及び検定料収入	6,026	5,928	△ 97	(注4)
附属病院収入	26,882	28,309	1,427	(注5)
財産処分収入	24	32	7	
雑収入	190	1,065	874	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	4,182	5,582	1,400	(注7)
引当金取崩	-	286	286	
長期借入金収入	1,640	775	△ 864	(注8)
目的積立金取崩	160	876	716	
計	55,605	61,153	5,547	
支出				
業務費	45,394	46,128	734	
教育研究経費	20,155	20,056	△ 99	(注9)
うち復興関連事業	-	-	-	
診療経費	25,239	26,072	833	(注10)
うち復興関連事業	-	-	-	
施設整備費	3,257	2,342	△ 914	(注11)
うち耐震対策事業	-	-	-	
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	1,115	2,696	1,580	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	4,182	5,200	1,018	(注13)
長期借入金償還金	1,642	1,639	△ 3	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	12	15	2	
計	55,605	58,024	2,418	
収入-支出	0	3,128	3,128	

※本報告書は百万円未満切り捨てにより作成しています。

○予算と決算の差異について

- (注1) 予算段階では予定していなかった運営費交付金が追加交付されたこと等により、予算金額に比して237百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金の一部について、予算段階では予定していなかった翌年度への繰越を行ったこと等により、予算金額に比して50百万円少額となっています。
- (注3) COVID-19関連を含め予算段階では予定していなかった補助金事業の獲得に努めたこと等により、予算金額に比して決算金額が1,609百万円多額となっています。
なお補助金等収入には、授業料等減免費交付金が332百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 予算段階では授業料に計上していた収入が授業料等減免費交付金の交付に伴う免除の実施で減少したこと等により、予算金額に比して決算金額が97百万円少額となっています。
- (注5) 新規入院患者数の増、高額医薬品の使用増および外科系診療科の手術件数増等、COVID-19対応を行いながら高難度医療の提供を両立したことで診療単価が上がり、予算金額に比して決算金額が1,427百万円多額となっています。
- (注6) 間接経費や農場演習林収入等の増により、予算金額に比して決算金額が874百万円多額となっています。
- (注7) 予算段階では予定していなかった産学連携等研究経費等の獲得に努めたこと等により、予算金額に比して決算金額が1,400百万円多額となっています。
- (注8) 予算段階より借入の減額を行ったため、予算金額に比して決算金額が864百万円少額となっています。
- (注9) 人件費の抑制等により、予算金額に比して決算金額が99百万円少額となっています。
- (注10) (注5)に示した理由に伴い医薬品・材料費が増したこと等により、予算金額に比して決算金額が833百万円多額となっています。
- (注11) (注2)及び(注8)で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が914百万円少額となっています。
- (注12) (注3)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が1,580百万円多額となっています。
- (注13) (注7)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が1,018百万円多額となっています。